

平成30年度  
学生募集要項

〔AO入試（アドミッション・オフィス入試）〕

人文社会科学部，教育学部，理工学部，農学生命科学部



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

# 目 次

①	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
②	募 集 人 員	8
③	出 願 期 間	9
④	出 願 書 類 等	10
⑤	出 願 上 の 注 意	12
⑥	学部ごとの出願要件・選抜方法等	14
	I. 人文社会科学部	14
	II. 教 育 学 部	16
	III. 理 工 学 部	21
	IV. 農学生命科学部	24
	V. 採点・評価基準, 合否判定基準	26
⑦	合格者等の発表	28
⑧	入 学 手 続	28
⑨	入学科及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ	30
⑩	学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ	31
⑪	合格しなかった場合の取扱い	32
⑫	入学試験個人成績の開示	32
⑬	個人情報の取扱いについて	33

## ●AO入試日程表

事 項	日 時	
出 願 期 間	平成29年10月6日(金)から 平成29年10月13日(金)まで〔午後5時必着〕	理工学部, 農学生命科学部
	平成29年10月23日(月)から 平成29年10月27日(金)まで〔午後5時必着〕	人文社会科学部, 教育学部
試 験 実 施 日	平成29年11月18日(土)	人文社会科学部, 教育学部
	平成29年11月19日(日)	教育学部, 理工学部, 農学生命科学部
合 格 者 等 発 表 日	〔合格者〕 平成29年11月29日(水) 午後2時(予定)	人文社会科学部, 教育学部(※を除く), 理工学部, 農学生命科学部
	〔合格内定者〕 平成29年11月29日(水) 午後2時(予定)	教育学部
	〔最終合格者〕 平成30年2月6日(火) 午後2時(予定)	※学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース
入学手続日	平成30年2月14日(水) 午前9時～午後4時	

# 東日本大震災，平成28年熊本地震， 平成28年台風10号により被災した 弘前大学入学志願者の入学検定料の免除について

平成29年7月  
弘前大学

東日本大震災，平成28年熊本地震，平成28年台風10号により，被害に遭われた方々には，心よりお見舞い申し上げます。

弘前大学では，被災者の経済的負担を軽減し，受験生の進学機会の確保を図るために，今年度を実施する入学者選抜試験について，次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

**入学検定料の免除を希望される方は，申請前に必ず学務部入試課までご連絡ください。**

## 1. 免除対象となる入学者選抜試験

平成29年度に実施する学部入試（編入学及び私費外国人留学生入試を除く）

平成29年度に実施する大学院入試（私費外国人留学生入試を除く）

## 2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で，平成23年3月11日に発生した東日本大震災，平成28年熊本地震又は平成28年台風10号により被災し，次のいずれかに該当することの証明が得られる方

### 【東日本大震災により被災した方】

(1) 学資負担者が，次の災害救助法適用地域において被災し，家屋等の全壊，大規模半壊，半壊，流失の被害を受けた方

岩手県，宮城県，福島県の全市町村

青森県，茨城県，栃木県，千葉県の災害救助法適用市町村

(2) 学資負担者が震災により死亡又は行方不明になった方

(3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により，帰還困難区域，居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

### 【平成28年熊本地震により被災した方】

(1) 学資負担者が，次の災害救助法適用市町村において被災し，家屋等の全壊，大規模半壊，半壊の被害を受けた方

熊本県の全市町村

(2) 学資負担者が熊本地震により死亡した方

### 【平成28年台風10号により被災した方】

(1) 学資負担者が，次の災害救助法適用市町村において被災し，家屋等の全壊，大規模半壊，半壊の被害を受けた方

北海道：帯広市，空知郡南富良野町，河東郡音更町，河東郡士幌町，河東郡上士幌町，河東郡鹿追町，上川郡新得町，上川郡清水町，河西郡芽室町，河西郡中札内村，河西郡更別村，広尾郡大樹町，広尾郡広尾町，中川郡幕別町，中川郡池田町，中川郡豊頃町，中川郡本別町，足寄郡足寄町，足寄郡陸別町，十勝郡浦幌町

岩手県：盛岡市，宮古市，久慈市，遠野市，釜石市，上閉伊郡大槌町，下閉伊郡岩泉町，下閉伊郡田野畑村，下閉伊郡普代村，九戸郡軽米町，九戸郡野田村，二戸郡一戸町

(2) 学資負担者が台風10号により死亡又は行方不明になった方

### 3. 申請の方法

事前に学務部入試課に電話等でお問い合わせください。免除対象と判断された方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

諸事情により出願時までに証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類が準備できた時点で申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

### 4. 申請書類

#### (1) 「入学検定料免除申請書」

(右URLからダウンロード (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>))

#### (2) 証明書類

##### 【東日本大震災により被災した方】

- ① 「り災証明書」(コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
- ② 「死亡又は行方不明を証明する書類」(コピー可) (上記2の(2)に該当する方)
- ③ 「被災証明書」(コピー可) (上記2の(3)に該当する方)

##### 【平成28年熊本地震により被災した方】

- ① 「り災証明書」(コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
- ② 「死亡を証明する書類」(コピー可) (上記2の(2)に該当する方)

##### 【平成28年台風10号により被災した方】

- ① 「り災証明書」(コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
- ② 「死亡又は行方不明を証明する書類」(コピー可) (上記2の(2)に該当する方)

### 5. 許可又は不許可の通知について

(1) 許可者には、受験票を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)

(2) 不許可者には、別途通知いたします。

この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

### 6. その他

(1) 既に払い込まれた入学検定料の返還について、学務部入試課への連絡・申請が著しく遅れた場合は、申請に応じられなくなることがあります。(平成29年度中に入学検定料免除の許可が出せることが必要)

(2) 入学検定料の免除を許可された方が、免除を受けるために虚偽の申請をした場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。

(3) 入学料及び授業料の減免等については、本学の「入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度」がありますので、別途申請が必要になります。

(4) 本件について、不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。

(本件に関する書類提出先・問合せ先)

〒036-8560 弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

【学部入試担当】 TEL: 0172 (39) 3122

【大学院入試担当】 TEL: 0172 (39) 3973

FAX: 0172 (39) 3125

# 弘前大学ゆめ応援プロジェクト募集要項

(平成30年度入学者)

## 1. 目的

本プロジェクトは、自分の夢を叶えるため本学への入学を希望しているにも関わらず、経済的理由により進学をあきらめなければならない環境にある学業優秀な者に対して、入学前に経済的負担を軽減することを確約し、優秀な学生の本学への進学を応援することを目的とします。

## 2. 内容

入学料 (282,000円) 全額免除

## 3. 採用者数

30名程度

AO入試 I・II 15名程度

一般入試 (前期日程) 15名程度

## 4. 申請資格

次の①及び②を満たし、本学のAO入試 I・II又は一般入試 (前期日程) に出願を予定し、合格した場合は入学を確約する者。

- ① 平成30年3月に高等学校又は中等教育学校 (以下「高等学校等」という。) を卒業見込みでかつ高等学校等調査書の全体の評定平均値が4.0 以上の者。
- ② 家庭の年間総所得金額が、弘前大学における授業料免除基準以下の者。

## 5. 申請書類受付期間及び結果通知等

	AO入試 I・II 受験者	一般入試 (前期日程) 受験者
配付開始	平成29年8月8日(火) オープンキャンパス	平成29年10月16日(月) 本学HPにて
受付期間	平成29年9月1日(金)～9月29日(金)	平成29年11月1日(水)～11月30日(木)
提出期限	平成29年9月29日(金) 必着厳守	平成29年11月30日(木) 必着厳守
結果通知	平成29年10月26日(木) 発送	平成29年12月中旬発送

※ 申請書類は配付開始時に本学ホームページにも掲載します。所定の様式等をダウンロードし、必要書類を添付の上、期限までに提出願います。

※ 申請結果は郵送いたします。

## 6. 候補内定者とならなかった場合

「弘前大学ゆめ応援プロジェクト」の申請者で候補内定者とならなかった場合も、通常の「入学料免除・徴収猶予」申請が可能です。ただし、通常の入学料免除には、申請資格の特別な要件 (入学前1年以内の家計支持者の死亡、風水害等の被災) があります。選考の結果、免除許可となっても、予算の関係により半額免除となります。なお、入学料徴収猶予は、特別な要件がなくても申請可能です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で請求してください。

## 7. 授業料免除

入学する年度の授業料免除については、通常の授業料免除申請をしていただき、選考の上、決定します。

授業料免除の決定時期は、前期が平成30年7月上旬、後期が平成30年12月上旬となります。ゆめ応援プロジェクト申請時と家計状況に大幅な変動がない場合は、全額免除又は半額免除となる予定です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で請求してください。

## 8. 問合せ先

弘前大学学務部学生課 ゆめ応援プロジェクト担当

TEL : 0172-39-3117 (平日9時~17時)

**本プロジェクトの申請及び選考（採用可否等）は、弘前大学入学試験の合否に一切影響しません。**

## ① 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### －世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学－

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- － 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- － 自立した個人として、又は多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- － 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

## 各学部のアドミッション・ポリシー

### 人文社会科学部

#### 1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視した教育カリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、地域社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

#### 【文化創生課程】

- 人文科学の諸領域（考古学、民俗学、芸術、歴史学、哲学、文学、外国語等）にかかわる専門知識・技能等を習得するのに十分な基礎学力を有する人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人
- 地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等への貢献をとおして、地域社会の発展のために積極的に行動できる人

#### 【社会経営課程】

- 社会科学の諸領域（経済学、法学、会計学、経営学、社会学、人類学、統計学、情報科学等）にかかわる専門知識・技能等を習得するのに十分な基礎学力を有する人
- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題の発見と解決に意欲的である人
- 自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等への貢献をとおして、地域社会の発展のために積極的に行動できる人

## 2) 入学者選抜の基本方針

### (1) 前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果及び調査書の内容を総合して選抜します。

### (2) 後期日程

高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査（小論文）の結果及び調査書の内容を総合して選抜します。

### (3) AO入試 I

人文社会科学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、個人面接、小論文、学習計画書・調査書の採点結果を総合して選抜します。

## ・入学前に身に付けておいてほしいこと

人文社会科学部には、文化創生課程、社会経営課程という二つの課程があります。

いずれの課程で学ぶ場合も、高等学校における学習内容は重要です。人文社会科学分野の学問の基礎をなすものとして、国語（現代国語、古文、漢文、国語表現等）や外国語（英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語等）の勉強によって養われるコミュニケーション能力、数学や情報の勉強によって養われる数学的思考力、数的処理能力や情報処理能力、社会（世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政経、倫理・政経等）の勉強によって養われる歴史文化や社会に関する基礎知識を身につけておく必要があります。

1年次には、英語で講義する科目もあります。英語などの外国語の検定資格等に積極的に挑戦するなどして、外国語の力を鍛えておいてください。

## 教育学部

### 1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、又は多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していかうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していかうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような特徴を持った学生を求めます。

### 【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力を修得するための基礎的な学力と、実践力を身に付けるために自律的・協働的に取り組む行動力のある人



- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

### 【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 「障害」に関して、教育や福祉、心理、病理など多方面から学ぶための基礎的な学力と、「障害」への関わりを深めていく行動力のある人
- 将来、特別支援学校をはじめとする学校等教員として、特別な支援を必要とする児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

### 【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な救急処置や保健指導、健康相談等の専門力を修得するための基礎的な学力と、実践力を身に付けるために自律的・協働的に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康問題に高い関心をもち、子どもたちに対し、生涯を通して生命を大切にし、自らの健康を守り高めていける力を身に付けさせたいと願い、養護教諭になりたいという強い意志を持つ人

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

## 2) 入学者選抜の基本方針

### (1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、実技や面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では基礎学力を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などを評価します。また実技では主に技能・判断力・表現力・主体性・協働性を、面接では主に目的・適性・意欲・関心进行评估します。

### (2) 後期日程

大学入試センター試験、面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、面接を含む総合的な検査及び調査書では主に専攻に対する目的・適性・意欲・関心进行评估します。

### (3) A O入試 I

出願書類、各専門分野に関する集団討論、個人面接及び実技を総合的に評価して選抜します。集団討論では主に思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を、出願書類と個人面接では主に各専門分野に対する目的・適性・意欲・関心进行评估します。また実技では主に技能・判断力・表現力・主体性・協働性を評価します。

### (4) A O入試 II

大学入試センター試験、出願書類、専門分野に関する小論文、集団討論及び個人面接を総合的に評価して選抜します。主として大学入試センター試験では基礎学力を、小論文では思考力・判断力・表現力を、集団討論ではこれらに加えて主体性・協働性を、出願書類と個人面接では専門分野に対する目的・適性・意欲・関心进行评估します。

## 理 工 学 部

### 1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探究する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

### 【数物科学科】

(数学型)

- 数理科学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、数理科学への強い興味を持ち探究心が旺盛で、問題や課題を見いだし、豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって世に出ることに意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

(物理型)

- 物理学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、電子や陽子等の極微粒子のミクロな世界から広大な宇宙の世界までを統一的に支配している自然の基本原理の探求に興味を持ち、問題や課題を見いだし、先端物理学の社会への還元を目指した工学への応用に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

### 【物質創成化学科】

- 物質創成化学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、自ら課題を見いだし、物質の構造や反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに意欲的である人
- 暮らしを豊かにする機能性物質の開発、環境調和を指向した機能性材料、リサイクル技術、省エネルギー・省資源技術に関する諸課題を解決していく研究開発に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

### 【地球環境防災学科】

- 地球環境防災学に関する諸学問を学ぶ学力を有し、宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学の基礎知識を身につけた上で、課題を見いだし、観測・実験・モデル化など発展的な取り組みに意欲的である人
- 地球に関する科学や工学を通して、地球環境問題の解決や自然災害の防止に資する新たな課題の解決に意欲的である人
- 専門を生かし、さまざまな社会でその一員として学び続ける意欲と行動力のある人

### 【電子情報工学科】

- 電子情報工学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、電子回路やそれらを形作る電子材料、コンピュータの基礎原理やソフトウェアの基本、コンピュータネットワークの動作原理・通信手段やセキュリティ、組込みシステム設計などの学習に意欲的である人

- 電子情報工学の最新技術を身に付けること、および様々な分野においてその成果を活用することに意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を見いだすとともに、課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

### 【機械科学科】

- 機械科学に関する諸学問を学ぶ学力を有し、医用・福祉、環境・エネルギー、航空宇宙、輸送機械、ロボット、ナノテクノロジー等の科学技術分野で要求される「未来型機械システム」の設計・開発に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を見いだすとともに、課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

### 【自然エネルギー学科】

- 自然エネルギーに関する諸学問を学ぶ学力を有し、自然や人間社会に深い興味を持ちそれらの知識を身につけることに意欲的である人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや、その活用に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を見いだすとともに、課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

## 2) 入学者選抜の基本方針

### (1) 前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果および調査書の内容を総合して選抜します。

### (2) 後期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果および調査書の内容を総合して選抜します。

### (3) AO入試 I

理工学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、自己推薦書、志望理由書、調査書、講義あるいは実験及びその内容に関するレポート、基礎学力に関する試問を含む個人面接の採点結果を総合して選抜します。

### (4) 3年次編入学

#### ①推薦選抜

理工学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、面接、志望理由書、推薦書および調査書又は成績証明書の結果を総合して選抜します。

#### ②一般選抜

理工学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、面接、志望理由書および調査書又は成績証明書の結果を総合して選抜します。

## ・入学前に身につけておいてほしいこと

理工学部には、6つの学科があります。いずれの学科で学ぶ場合も、問題や課題を見いだす力、解決する力、学び続ける力を身につけるために高等学校における学習内容は重要です。理工学分野の学問を学ぶための基礎的な力として、数学の勉強によって培われる論理的思考力、理科（物理、化学、地学等）の勉強によって培われる自然科学に関する基礎知識、国語や外国語の勉強によって培われる表現やコミュニケーションの能力を身につけておく必要があります。数学と自然科学の基礎知識は、理工学分野を学習するための共通の礎となるものです。基礎となることがらをしっかりと身につけておいてください。

## 農学生命科学部

### 1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力
- 農学および生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科では、それぞれ以下のような特徴のある学生を求めます。

### 【生物学科】

- 教養教育を基盤とし、生命科学の各分野の専門教育を理解していくために必要な基礎学力を持つ人
- 基礎から応用までの生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲のある人
  - ・動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみの解明に意欲のある人
  - ・生物の生態や分類に興味を持ち、生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

### 【分子生命科学科】

- 入学後に修める教養教育や生命科学の専門教育に必要な基礎学力（特に英語・化学・生物）を持つ人
- 生命科学を通して国際社会、地域社会および学問の発展に寄与しようとする行動力を持つ人
- 生命現象の不思議や未知の生物機能について、細胞レベル・遺伝子レベル・分子レベル・原子レベルで解明したり、生物のもつ潜在能力を掘り起こして次世代のバイオテクノロジーを創り出していく意欲のある人

### 【食料資源学科】

- 入学後に修める教養教育や、食料資源学の各分野の専門教育に必要な基礎学力を持つ人
- 食料資源学の各分野の学修成果を基に国際社会や地域社会に参画しようとする行動力を持つ人
- 食料資源学の各分野に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲のある人

### 【国際園芸農学科】

- 入学後に修める教養教育や、農業生産領域や食と農業の経済領域の各分野の専門教育に必要な基礎学力を持つ人
- 農業生産領域や食と農業の経済領域を学ぶことを通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力を持つ人
- 農業生産領域や食と農業の経済領域に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲のある人

### 【地域環境工学科】

- 入学後に修める教養教育や、地域環境工学の各分野の専門教育に必要となる高校の教科全般、特に数学、理科系の基礎学力を持つ人
- 自立した技術者として、多様な人々と協働し、社会的責任を自覚し、継続的に学修し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な知識を習得した技術者として、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

## 2) 入学者選抜の基本方針

### (1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験による基礎学力の評価とともに、個別学力検査を課すことによって、総合的学力の優れた人の選抜を目指しています。

### (2) AO入試I

小論文、面接、自己PR書及び調査書の結果を総合して選抜します。小論文の内容の評価と面接における質疑応答では、農学生命科学部および各学科の「求める学生像」に適している人の選抜を目指しています。

### (3) 3年次編入学

小論文、面接、出願書類の結果を総合して選抜します。小論文の内容の評価と面接における質疑応答では、各学科の教育研究内容に関連する専門的基礎素養を持った人の選抜を目指しています。

## 2 募集人員

AO入試Ⅰは、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。

AO入試Ⅱは、大学入試センター試験を課し、個別学力検査は免除して選抜を行います。

### 〔AO入試Ⅰ〕

実 施 学 部 等				募集人員	
人文社会科学部	文化創生課程			25	
	社会経営課程			35	
	計			60	
教育学部	学校教育 養成課程 教員	初等中等 教育専攻	中学Ⅰ 校ス	音楽専修	2
				保健体育専修	3
	特別支援教育専攻			5	
	養護教諭養成課程			6	
	計			16	
理工学部	数物科学科			20	
	物質創成化学科			13	
	地球環境防災学科			17	
	電子情報工学科			14	
	機械科学科			20	
	自然エネルギー学科			10	
	計			94	
農学生命科学部	生物学科			7	
	分子生命科学科			7	
	食料資源学科			10	
	国際園芸農学科			13	
	地域環境工学科			6	
	計			43	
合 計				213	

### 〔AO入試Ⅱ〕

実 施 学 部 等		募集人員
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	25
合 計		25

注) AO入試Ⅰ・Ⅱの合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

### 3 出願期間

志 願 学 部	出 願 期 間
人 文 社 会 学 部	<b>平成29年10月23日(月)</b> <b>～平成29年10月27日(金) 午後5時必着</b>
教 育 学 部	持参の場合は、平日9:00から17:00まで受付します。 なお、郵送、持参ともに出願期間最終日の午後5時以降に到着したものは受理しません。
理 工 学 部	<b>平成29年10月6日(金)</b> <b>～平成29年10月13日(金) 午後5時必着</b>
農 学 生 命 学 部	持参の場合は、平日9:00から17:00まで受付します。 なお、郵送、持参ともに出願期間最終日の午後5時以降に到着したものは受理しません。

## 4 出願書類等

提出書類等	摘 要
志 願 票	本人が記入して下さい。
写 真 票	写真貼付欄には、出願前3ヶ月以内に撮影した無帽上半身のもの (タテ4cm×ヨコ3cm)を貼り付けて下さい。
受 験 票	
志 願 者 全 員  「振替払込受付 証明書(大学提 出用)」貼付台紙	<p>検定料17,000円を、別添の「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んで下さい。</p> <p>払い込み済みの「振替払込受付証明書(大学提出用)」を添付様式の貼付台紙に貼り付けて提出して下さい。</p> <p>なお、払込期間は、別添の「払込取扱票」に記載のとおりです。</p> <p>(注意) 払い込み済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合</li> <li>2. 検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合</li> <li>3. 誤って検定料を二重に払い込んだ場合</li> <li>4. 第1次選抜(理工学部, 農学生命科学部)の結果, 不合格となった場合</li> </ol> <p>上記1～3の場合は、速やかに弘前大学学務部入試課までお問い合わせください。4の第1次選抜不合格者に対しては、13,000円を返還します。返還手続に必要な書類は、第1次選抜結果の通知とともに送付します。</p>
調 査 書	所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出して下さい。
あ て 名 票	要項に添付の「あて名票1(教育学部(小学校コース), 理工学部, 農学生命科学部志願者のみ)」、「あて名票2(全志願者記入)」は、必ず記入して下さい。あて名票3-A, 3-Bは、33ページの「2. 第三者への提供」に同意する場合のみ記入して下さい。
受験票返送用封筒	添付の封筒に、志願者本人の住所・氏名を明記し、切手362円分を貼り付けて下さい。



提出書類等		摘要
人文社会科学部 志願者	学習計画書	所定の様式により提出してください。
	検定試験関係書類 (社会経営課程の該当する者のみ提出)	次の検定試験の等級を証明する書類の写し  日本商工会議所主催簿記検定試験 2 級 公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験 1 級 独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験 1 級
教育学部 志願者	自己 P R 書 (学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校 コース, 学校教育教員 養成課程特別支援教育 専攻, 養護教諭養成 課程のみ提出)	志望理由を含めた自己 P R 書を, 任意の A 4 サイズの用紙 (片面 1 枚) に各自で自由に作成してください。
	活動報告書 (学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校 コース, 学校教育教員 養成課程特別支援教育 専攻, 養護教諭養成 課程のみ提出)	学校・家庭・地域での体験を踏まえた活動報告書を, 任意の A 4 サイズの用紙 (片面 1 枚) に各自で自由に作成してください。
	スポーツ競技歴が 分かる資料 (学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中 学校コース保健体育専 修の該当する者のみ提出)	学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース保健体育専 修「出願書類」の配点には, <b>スポーツ競技歴等</b> の評価を含みます。 校外外における体育的活動ならびにスポーツ活動について, 競技 成績等が分かるものがある場合, 各々コピーし, <b>A 4 サイズで提出</b> してください (主要なもの 5 点以内)。 <b>※提出できる資料がない場合は不要です。</b>
理工学部 志願者	自己推薦書	志望理由を含めた自己推薦書を所定の様式により提出してください。
農科学部 志願者	自己 P R 書	自己 P R, 志望理由, 将来への展望等について, 所定の様式に 600 字以内で作成してください。

## 教育学部 合格内定者提出書類

(学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コースのみ提出)

【AO】平成30センター試験成績請求票国公立AO入試用

AO入試Ⅱの**合格内定者**は, 12月中旬に大学入試センターから【AO】平成30センター試験成績請求票国公立AO入試用】が届き次第, 添付の封筒に入れ, 切手392円分を貼り, 受験番号, 郵便番号, 住所及び氏名を記入し, 平成29年12月22日(金) 17:00必着で郵送してください。

## 5 出願上の注意

1. 出願書類に、次のような不備があるものは受理しません。
    - (1) 志願票等に記入漏れ、誤記のあるもの
    - (2) 「振替払込受付証明書（大学提出用）」が貼付されていないもの
    - (3) 必要な証明書等が添付されていないもの
  2. 提出した出願書類等の記載内容の変更は認めません。
  3. 提出した出願書類等に虚偽の申告があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
  4. 提出した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
  5. 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに出願書類提出先に連絡してください。
  6. 障がい等のある入学志願者の事前相談について  
病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする方は、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。
    - (1) 事前相談の申し出期限  
平成29年9月22日(金)まで
    - (2) 連絡先  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
弘前大学学務部入試課  
電話 0172(39)3122
  7. AO入試I合格者に係る入学前教育の実施、大学入試センター試験の任意受験について
    - (1) 入学前教育の実施について  
AO入試I合格者の全員を対象に、民間事業者と連携した入学前教育を実施します。詳細は合格発表後の合格通知書送付時に同封しますが、郵送されるテキストの課題に取り組み、最終的には確認用のテストを受けていただく予定です（受講料は本学が負担）。
    - (2) 大学入試センター試験の任意受験について  
AO入試Iでは、大学入試センター試験は課しません（選抜の際の点数化もしませんし、受験資格の位置づけでもありません）が、合格後、入学までの期間の勉強意欲継続のため、また高校時点での基礎学力を把握し入学後のフォローに活用するため、大学入試センター試験の任意受験を推奨しています（検定料は本人負担）。  
特に『英語』については、提供いただいた成績をもとに、入学後のクラス分けに活用する予定ですので、すべての学部で設定しています（リスニングも含まれます）。
- 手続
- 予め大学入試センター試験の出願を行ってください。（最低限受験してほしい科目は学部・学科等ごとに異なりますので、次のページの表により確認してください）
  - 本学へのAO入試I出願時には、志願票に、大学入試センター試験に実際に出願した科目を全て記入してください。
  - AO入試I合格者は、12月中旬に大学入試センターから【AO】平成30センター試験成績請求票国公立AO入試用】が届いたら、添付の封筒に入れ、切手392円分を貼り、受験番号、郵便番号、住所及び氏名を記入し、平成29年12月22日(金)17:00必着で郵送してください。

平成30年度 AO入試I合格者に対する大学入試センター試験任意受験科目一覧

センター試験の出題教科・科目 学部・学科等名		国語	地理歴史						公民			数学①		数学②			理科						外国語	備考			
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学		生物学	地理学	英語(リスニング含む)
人文社会科学部	文化創生課程	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	6教科 7又は 8科目 ※一般入試と同様
	社会経営課程		1						1			1又は2			1から3												
教育学部	音楽専修	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科 7科目から 6教科 8科目 ※一般入試と同様	
	保健体育専修		1又は2						1又は2			1から3															
	特別支援教育専攻																										
	養護教諭養成課程											5又は6															
理工学部	数物科学科											○	○	○	○	○							◎ 1	2教科 3科目			
	物質創成化学科											○	○	○	○	○							◎ 1	2教科 3科目			
	地球環境防災学科											○	○	○	○	○	1又は2						◎ 1	2教科2 又は3科目			
	電子情報工学科											○	○	○	○	○	1又は2						◎ 1	3教科3 又は4科目			
	機械科学科											○	○	○	○	○							◎ 1	2教科 3科目			
	自然エネルギー学科											○	○	○	○	○	1又は2						◎ 1	3教科3 又は4科目			
農学生命科学部	生物学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2又は3						◎ 1	5教科7 又は8科目 ※一般入試と同様			
	分子生命科学科											○	○	○	○	○	2又は3						◎ 1	3教科4 又は5科目			
	食料資源学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2又は3						◎ 1	5教科7 又は8科目 ※一般入試と同様			
	国際園芸農学科	◎ 1										○	○	○	○	○	1又は2						◎ 1	4教科4 又は5科目			
	地域環境工学科											○	○	○	○	○							◎ 1	2教科 2科目			

- 注意：1. この表は、AO入試Iの合格者が任意で大学入試センター試験を受験する際、当該各学部・学科等における共通科目として最低限受験してほしい科目を学部学科等ごとに示す。
- 注意：2. 学部・学科によっては高等学校の多様性に配慮して少なめの科目設定としているが、あくまで共通の下限設定なので、大学入試センター試験の出願時に実際に登録した科目を本学へのAO入試I出願時にすべて記入し、そのまま受験すること。
- 注意：3. ◎印はそのまま受験し、○印はグループ内から選択して受験する科目を示す。
- 注意：4. □印の数字は受験科目数を示す。
- 注意：5. 英語については、リスニングも受験すること。

## 6 学部ごとの出願要件・選抜方法等

### I. 人文社会科学部

#### 1. 趣 旨

AO入試Iは、自己推薦に基づき、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。

ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。

(詳しくは12ページ「7. AO入試I合格者に係る入学前教育の実施, 大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

#### 2. 課程及び募集人員

課 程	募集人員
文化創生課程	25人
社会経営課程	35人

#### 3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校

#### 4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成24年4月以降に卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 人物、学力ともに優れ、高等学校等における調査書の全体の評定平均値が【表1】の要件を満たす者

【表1】

課 程	高 等 学 校 等 の 学 科		全体の評定平均値
文化創生課程			調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
社会経営課程	A	商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者）※1）※2）	
	B	上記を含む全ての学科	

※1）社会経営課程では、募集人員35人のうち上記Aの中から、8人の合格者を予定している。

※2）Aで出願する場合は、次の資格試験のいずれかに合格していること。

- ・日本商工会議所主催簿記検定試験2級
- ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験
- ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級

## 5. 出願時注意事項

志願者は、添付の様式により、学習計画書を提出すること。

## 6. 選抜方法

個人面接，小論文，学習計画書・調査書の採点結果を総合して行います。

### (1) 試験実施日時及び試験場

試験実施日	試験科目	時間	試験場
平成29年11月18日(土)	小論文	9:00～10:30	弘前大学 総合教育棟
	個人面接	11:30～	

### (2) 小論文の出題形式

一つのテーマについて論述させる。(制限字数800字)

### (3) 面接の方法

個人面接方式(受験者は自己PR，志望理由と入学後の学習計画，大学卒業後の進路等について5分から10分以内で口頭発表し，それに基づいて複数の教員により質疑応答を行う)

1人当たり20分程度とする。(口頭発表を含む)

学習計画書やその他の資料等を見ながら，面接を受けることはできない。

### (4) 配点

課程	個人面接	小論文	学習計画書 調査書	合計
文化創生課程	200	200	200	600
社会経営課程				

## II. 教育学部

### 〔AO入試Ⅰ〕

#### 1. 趣 旨

AO入試Ⅰは、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。  
ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。

(詳しくは12ページ「7. AO入試Ⅰ合格者に係る入学前教育の実施, 大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

#### 2. 課程及び募集人員

課程・専攻				募集人員
学 校 教 育 教 員 程	初 等 中 等 教 育 専 攻	中 学 校 コ ー ス	音 楽 専 修	2 人
			保 健 体 育 専 修	3 人
	特 別 支 援 教 育 専 攻			5 人
養 護 教 諭 養 成 課 程				6 人

#### 3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校

#### 4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者
- (2) 本課程又は専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本課程又は専攻への志望動機が明確である者
- (3) 高等学校若しくは中等教育学校を平成24年4月以降に卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者

#### 5. 選抜方法

- 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修**  
実技及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行います。
- 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修**  
出願書類、実技及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行います。
- 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻**  
出願書類、集団討論及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行います。
- 養護教諭養成課程**  
出願書類、集団討論及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行います。

(1) 試験実施日時及び試験場

課程・専攻等				試験実施日	試験科目	時間	試験場
学校 養成 教育 課程	初等 教育 専攻	中 学 1 校 ス	音楽専修	11月18日(土)	実技	9:00~12:00	弘前大学 教育学部
					個人面接	13:00~17:00	
			11月18日(土)	個人面接	9:00~17:00		
		保健体育専修	11月19日(日)	実技	9:00~17:00		
	特別支援教育専攻		11月18日(土)	集団討論	9:00~16:00		
			11月19日(日)	個人面接	9:00~16:00		
養護教諭養成課程				11月18日(土)	集団討論	9:00~16:00	
				11月19日(日)	個人面接	9:00~16:00	

※ 実技及び面接の終了時間については、受験者数によって変更することがあります。

(2) 試験実施方法等

課程・専攻等				実施方法等
学 校 初 等 教 育 中 学 校 教 員 養 成 専 攻 課 程	中 学 校 コ ー ス	音 楽 専 修		<p>実技及び面接により、音楽についての能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>(面接) 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり10分程度</p> <p>(実技) 課題A又はBを選択する。 いずれも実技のあと音楽に関する口頭試問を行う。</p> <p>課題A</p> <p>①コールユーブンゲン第1巻全曲から当日指定された曲を歌うこと。</p> <p>②ピアノ：「音階」同一調号による長調と短調。ただし、速度は、♩=80以上とする。Hanon No.39のなかから当日指定。</p> <p>③ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン作曲の任意のピアノソナタの第1楽章、あるいは最終楽章を暗譜で演奏すること。ただし、緩徐楽章は除く。場合により途中で止めることがある。</p> <p>④コンコーネ50番(中声用)の35番から45番より1曲当日指定。母音で歌うこと。</p> <p>課題B</p> <p>①コールユーブンゲン第1巻全曲から当日指定された曲を歌うこと。</p> <p>②ピアノ：「音階」同一調号による長調と短調。ただし、速度は、♩=80以上とする。Hanon No.39のなかから当日指定。</p> <p>③ツェルニー 100番練習曲集、ツェルニー 30番練習曲集、ツェルニー 40番練習曲集の中から、任意の1曲(楽譜持込可)を演奏すること。</p> <p>④声楽又は楽器(ピアノを除く)のいずれかを暗譜で演奏すること。曲目は自由、演奏時間は原則として10分以内で、場合により途中で止めることがある。演奏曲目の総譜を当日持参し、試験担当者に提示すること。楽器を演奏する場合は、各自楽器を持参すること。なお、共演者を必要とする場合は、受験者側で用意し、必ず当日同伴すること。また、事前にその旨を入試課に連絡すること。</p>

課程・専攻等				実施方法等				
学校 教育 教員 養成 課程	初 等 中 学 校	中 学 校 コ ー ス	保健体育専修	<p>出願書類(スポーツ競技歴等を含む), 実技, 個人面接(口頭試問を含む)により, 保健体育についての知識・能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>(面接) 受験者1人に対し複数の教員で面接を行う。 1人当たり30分程度 体育(体育理論を含む), 保健に関する知識等についての口頭試問を含め志望動機や適性等について多面的観点から面接を行う。</p> <p>(実技) 高等学校保健体育実技で行われている内容と同程度の運動技能テストを次の4種目について行う。</p> <p>種目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 器械運動: マット運動, 鉄棒運動等の基本技能についてテストを行う。</li> <li>2. 陸上競技: 走運動, 跳躍運動, 投てき運動の基本技能についてテストを行う。</li> <li>3. 柔道: 受け身, 投げ技, 固め技, 約束練習等の基本技能についてテストを行う。</li> <li>4. バスケットボール: パス, ドリブル, シュート等の基本技能や攻防の技能等についてテストを行う。</li> </ol> <p>持参用具 運動着, 柔道着, 運動靴(体育館用), 筆記用具</p>				
				<p>(集団討論) 本課程又は専攻分野のテーマに関して受験者同士で討論をさせる。</p> <p>(個人面接) 複数の教員で志望理由, 適性, 意欲, 関心を受験者1人ずつに問う個人面接を行う。(口頭試問を含む) 学校教育教員養成課程特別支援教育専攻においては, ロールプレイやプレゼンテーション等を含むことがある。</p>				
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻								
養護教諭養成課程								

### (3) 配点

課程・専攻等				出願書類	集団討論	個人面接	実技	合計
学校 教育 教員 養成 課程	初 等 中 学 校	中 学 校 コ ー ス	音楽専修	—	—	200	300	500
			保健体育専修	100	—	200	200	500
	特別支援教育専攻			100	200	200	—	500
養護教諭養成課程				100	200	200	—	500



## 〔AO入試Ⅱ〕

### 1. 趣 旨

AO入試Ⅱは、大学入試センター試験を課し個別学力検査を免除して選抜を行います。

### 2. 課程及び募集人員

課程・専攻等	募集人員
学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	25人

### 3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校

### 4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者
- (2) 本課程又は専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本課程又は専攻への志望動機が明確である者
- (3) 高等学校若しくは中等教育学校を平成24年4月以降に卒業した者及び平成30年3月に卒業見込みの者
- (4) 次のとおり平成30年度大学入試センター試験の3教科3科目又は3教科4科目を受験する者

国（国語）	} から1	} から3又は4 （※3）
地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B）		
公民（現社, 倫, 政経, 倫政経）		
数（数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿, 情報）	} から1又は2 （※1）	
理（物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学）		
外（英, 独, 仏, 中, 韓）から1（※2）		

（※1）基礎を付した理科学科目は、2科目選択

（※2）「英語」にはリスニングを含みます。

（※3）受験を要する教科・科目数を超えて受験した場合は、得点の高い科目を採用します。ただし、「地歴」、「公民」及び「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。  
なお、「国語」と「外国語」は100点満点に換算して利用します。

## 5. 選抜方法

出願書類，小論文，集団討論及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行い，合格内定者を決定します。

合格内定者の内，大学入試センター試験の受験した科目の中から高得点順に3教科3科目又は3教科4科目（詳しくは，19ページ「4. 出願の要件」参照）を採用し，その総合点が60%に達している者を最終合格者とします。

ただし，2科目以下しか受験しなかった場合又は，採用した教科・科目の中に，0点の科目があった場合は，不合格となります。

### (1) 試験実施日時及び試験場

課程・専攻等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	11月18日(土)	小論文	9:00~10:30	弘前大学 教育学部
		集団討論	12:00~17:00	
	11月19日(日)	個人面接	9:00~17:00	

※ 面接終了時間については，受験者数によって変更することがあります。

### (2) 小論文の出題形式

広い意味での教育に関する課題について文章などの資料を与え，それについての自分の考えを論述させる。(制限字数 800字)

### (3) 集団討論の方法

課題図書に関するテーマについて，グループで討論を行う。討論時間は1グループ当たり25分程度とする。

以下の課題図書を試験当日までに入手し，読んでおくこと。

討論のテーマを設定し，受験者同士で討論をさせる。

(課題図書)

『勉強するのは何のため？ - 僕らの「答え」のつくり方-』 著者 苦野 一徳，  
発行 日本評論社，定価 1,400円+税，ISBN：978-4-535-56329-2

### (4) 個人面接の方法

複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。

1人当たり20分程度とする。

はじめに自己PR書の内容について，口頭でプレゼンテーションをさせる。

### (5) 配点

課程・専攻等	出願書類	小論文	集団討論	個人面接	合 計
学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	100	200	200	200	700

### • 大学入試センター試験

課程・専攻等	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	100	100	100	100	100	100	300
	└──────────┘			└────────┘			
		100		100			

※「国語」と「外国語」は100点満点に換算して利用します。

### Ⅲ. 理工学部

#### 1. 趣 旨

AO入試Ⅰは、全学科で大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。

ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。

(詳しくは12ページ「7. AO入試Ⅰ合格者に係る入学前教育の実施, 大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

#### 2. 学科及び募集人員

学 科	募集人員
数 物 科 学 科	20 人
物 質 創 成 化 学 科	13 人
地 球 環 境 防 災 学 科	17 人
電 子 情 報 工 学 科	14 人 (※1)
機 械 科 学 科	20 人 (※2)
自然エネルギー学科	10 人

(※1) 電子情報工学科では、「高等学校等の工業又は商業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)及び総合学科」から、合わせて5人以上の合格者を予定しています。

(※2) 機械科学科では、「高等学校等の工業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)」から、3人程度の合格者を予定しています。

#### 3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校又は高等専門学校

#### 4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成24年4月以降に卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者又は高等専門学校3年次を平成30年3月修了見込みの者
- (2) 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者

#### 5. 選抜方法

第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。

##### 第1次選抜

出願書類(自己推薦書, 調査書)により選抜を行います。

募集人員の3倍程度を第1次選抜の合格者とします。なお、志願者数により、全員を第1次選抜合格者とする場合があります。

出願書類 100点

## 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、簡単な講義あるいは実験の実施とその内容に関するレポート及び個人面接（基礎学力に関する試問を含む）に対する得点並びに第1次選抜の得点を総合した評価により選抜を行います。

### (1) 試験実施日時及び試験場等

試験日	試験科目	時間	試験場
平成29年11月19日(日)	講義あるいは実験及びその内容に関するレポート	9:00～11:00(※)	弘前大学 理工学部
	個人面接	12:00～17:00(※)	

(※) 試験終了時間は予定より早くなる場合があります。

### (2) 試験実施方法等

学 科	摘 要
数 物 科 学 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義及びその内容に関するレポート 広い意味で数学に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度、論理的思考力及び表現力の評価を目的とするものである。</li> <li>個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。</li> </ul>
物 質 創 成 化 学 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義及びその内容に関するレポート 化学に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校化学についての学力を問うものではない。</li> <li>個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。</li> </ul>
地 球 環 境 防 災 学 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義及びその内容に関するレポート 広い意味で地球の環境や防災に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。</li> <li>個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。</li> </ul>
電 子 情 報 工 学 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義及びその内容に関するレポート エレクトロニクスや情報技術の基礎となる数学や理科に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校数学や理科の科目についての学力を見るものではない。</li> <li>個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。</li> </ul>

機 械 科 学 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義及びその内容に関するレポート 機械の基礎となる理科に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。</li> <li>個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。</li> </ul>
自然エネルギー学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義及びその内容に関するレポート エネルギーと環境問題への理解を深めることを目的とした模擬授業を行い、受講後には講義内容の理解度や思考力に関するレポート作成を行う。</li> <li>個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。</li> </ul>

### (3) 配点

学 科	第1次選抜	講義・実験 及びレポート	個人面接	合計
数 物 科 学 科	100	200	200	500
物 質 創 成 化 学 科				
地 球 環 境 防 災 学 科				
電 子 情 報 工 学 科				
機 械 科 学 科				
自然エネルギー学科				

## 6. 第1次選抜の結果について

- (1) 第1次選抜の結果は、**平成29年10月25日(水)以降**に郵送により通知します。電話、メール等での合否に関する問い合わせには応じません。
- (2) 志願者全員に「第1次選抜試験結果通知書」を送付するとともに、合格者には「弘前大学受験票」を、不合格者には「入学検定料返還手続書類」を速達郵便で送付します。  
なお、第1次選抜の結果通知が平成29年11月2日(木)を過ぎても届かない場合は、入試課へお問い合わせください。

## IV. 農学生命科学部

### 1. 趣 旨

AO入試Iは、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。  
ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。

(詳しくは12ページ「7. AO入試I合格者に係る入学前教育の実施, 大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

### 2. 学科及び募集人員

学 科	募集人員
生 物 学 科	7 人
分 子 生 命 学 科	7 人
食 料 資 源 学 科	10 人
国際園芸農学科(※1)	13 人(※2)
地 域 環 境 工 学 科	6 人

(※1) 国際園芸農学科において、2年次に1週間程度の「海外研修入門(必修)」を行います。実習経費のうち、往復旅費、宿泊料等については本学の規定の範囲内で大学負担しますが、諸経費等は個人負担となります。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

なお、その他の学科においては選択科目となりますが、成績や学習意欲等に基づく面接により各学科5人を上限として、同様の経費負担で履修することができます。

(※2) 国際園芸農学科では、募集人員13人のうち、高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科から4人程度の合格者を予定しています。

### 3. 対象となる高等学校等の範囲

次の学科又は課程を有する全国の高等学校若しくは中等教育学校

○生物学科, 分子生命科学科, 食料資源学科, 地域環境工学科

農業, 林業, 水産, 工業, 情報に関する学科, 又は普通科, 理数科, 総合学科に関する課程

○国際園芸農学科

農業, 林業, 水産, 工業, 商業, 情報に関する学科, 又は普通科, 理数科, 総合学科に関する課程

### 4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

上記の学科又は課程を有する高等学校若しくは中等教育学校を平成24年4月以降に卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者

## 5. 選抜方法

第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。

### 第1次選抜

出願書類（自己PR書，調査書）の審査により選抜を行います。

各学科，募集人員の3倍程度を第1次選抜の合格者とします。なお，志願倍率が3倍を超えなかった学科では，志願者全員を第1次選抜合格者とします。

出願書類 100点

### 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して，小論文及び面接の得点並びに第1次選抜の得点を総合した評価により選抜を行います。

#### (1) 試験実施日時及び試験場

試験実施日	試験科目	時間	試験場
平成29年11月19日(日)	小論文	10:00～11:30	弘前大学 総合教育棟
	面接	13:00～	

#### (2) 小論文の出題形式

いくつかのテーマについて論述させる。(制限字数800字) 90分  
問題文や図表に英文が含まれることがある。

#### (3) 面接の方法

複数の教員による個人面接を20分程度で行う。具体的には，アドミッション・ポリシーに掲げた農学生命科学部及び各学科が求める学生像に適するかどうかを総合的に判断するための質問を行う。その際，出願書類（自己PR書，調査書）を面接時の参考資料にすることがある。また，面接の過程で，大学で学ぶために必要な基礎学力を確認するため，口頭試問を行うことがある。

#### (4) 配点

学 科	第1次選抜	小論文	面接	合計
生 物 学 科	100	100	100	300
分子生命科学科				
食料資源学科				
国際園芸農学科				
地域環境工学科				

## 6. 第1次選抜の結果について

(1) 第1次選抜の結果は，**平成29年10月25日(水)以降**に郵送により通知します。電話，メール等での可否に関する問い合わせには応じません。

(2) 志願者全員に「第1次選抜試験結果通知書」を送付するとともに，合格者には「弘前大学受験票」を，不合格者には「入学検定料返還手続書類」を速達郵便で送付します。

なお，第1次選抜の結果通知が平成29年11月2日(木)を過ぎても届かない場合は，入試課へお問い合わせください。

## V. 採点・評価基準，合否判定基準

人 文 社 会 科 学 部	<p>個人面接，小論文，学習計画書・調査書の採点結果を総合して行うが，次のとおり点数化して評価する。</p> <p>個人面接 200点，小論文 200点，学習計画書・調査書 200点      合計 600点</p> <p>基準1 順位は個人面接，小論文，学習計画書・調査書の合計点の高い順とする。          基準2 「基準1」により同点者が複数いる場合は，個人面接の得点の高い者を上位とする。          基準3 「基準2」により同点者が複数いる場合は，小論文の得点の高い者を上位とする。</p> <p>(個人面接)          アドミッション・ポリシーを念頭に，志望課程への関心と意欲，大学での学習計画と将来への見通し，コミュニケーション能力等を客観的に評価し，複数の教員により点数化する。</p> <p>(小論文)          課題について自分の考えを的確に述べていること，論旨が明確であること，日本語の文章として適切であること等を総合的に評価し，点数化する。</p> <p>(学習計画書)          自己PR，志望理由と学習計画，将来の進路希望の内容をもとに点数化する。</p> <p>(調査書)          高校時代の活動をもとに点数化する。</p>	
	教 学 部	<p>事前に実施する選抜の合格者を「合格内定者」とし，合格内定者の内，大学入試センター試験の総得点が60%に達しているものを最終合格者とする（詳しくは20ページ「5. 選抜方法」参照）。</p> <p>1. 合格内定者は，出願書類，小論文，集団討論，個人面接の合計点の高い順に決定する。          2. 1の合計点が同一の場合は，個人面接，集団討論，小論文の順序で点数の高い者を上位者とする。</p> <p>(小論文)          提示された課題に対する理解と文章表現を通して，論理的思考力，記述能力等を複数の教員で評価し点数化する。</p> <p>(集団討論)          課題図書に関する集団討論を通して，自己表現力，理解力，他者の意見を聞く力，話し合いの調整能力等を複数の教員で評価し点数化する。</p> <p>(個人面接)          教職への目的意識（志望動機），小学校教員としての適性（資質・能力），教育に対する意欲・興味・関心，他者に自己を表現する能力等を複数の教員で評価し点数化する。</p>
初 等 教 育 部	小 学 校 初 等 教 育 科 目	<p>実技及び面接により，音楽についての能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>1. 合格者は実技，個人面接の合計点の高い順に決定する。          2. 1の合計点が同一の場合は，個人面接の点数の高い者を上位者とする。</p> <p>(実 技)          音楽教員に必要とされる技術・表現力，知識を総合的に判断する。</p> <p>(個人面接)          教職への目的意識（志望動機），音楽教員としての適性（資質・能力），教育に対する意欲・興味・関心，他者に自己を表現する能力，他者と円滑にコミュニケーションを行う能力等について総合的に評価する。</p>
専 攻 課 程 部	中 学 校 音 楽 専 修 科 目	<p>実技及び面接により，音楽についての能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>1. 合格者は実技，個人面接の合計点の高い順に決定する。          2. 1の合計点が同一の場合は，個人面接の点数の高い者を上位者とする。</p> <p>(実 技)          音楽教員に必要とされる技術・表現力，知識を総合的に判断する。</p> <p>(個人面接)          教職への目的意識（志望動機），音楽教員としての適性（資質・能力），教育に対する意欲・興味・関心，他者に自己を表現する能力，他者と円滑にコミュニケーションを行う能力等について総合的に評価する。</p>



教 育 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 中 学 校 コ ー ス	中 学 校 保 健 体 育 専 修	<p>出願書類（調査書，スポーツ競技歴が分かる資料），実技，個人面接（口頭試問を含む）について，保健体育の知識，志望課程・専攻・専修への動機・関心・意欲・資質等を総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>合格者は，出願書類，実技，個人面接の合計点の高い順に決定する。</li> <li>1の合計点が同一の場合は，個人面接，実技，出願書類，の順序で点数の高い者を上位者とする。</li> </ol> <p>（実 技） 高等学校保健体育実技で行われている内容と同程度の運動技能テストを行い，運動能力を評価する。</p> <p>（個人面接） 体育分野（体育理論を含む），保健分野に関する知識等について口頭試問を含め志望動機や適性等について多面的観点から総合的に審査，評価する。</p>
	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	特 別 支 援 教 育 専 攻		<p>出願書類（調査書，志望理由を含めた自己PR書，学校・家庭・地域での体験を踏まえた活動報告書），集団討論及び個人面接について，志望課程・専攻への動機・興味・関心・意欲・資質等を総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>合格者は，出願書類，集団討論及び個人面接の合計点の高い順に決定する。</li> <li>1の合計点が同一の場合は，集団討論，個人面接の順序で点数の高い者を上位者とする。</li> </ol> <p>（集団討論）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 特別支援教育や障害に関するテーマについて，集団で討議し，理解力，表現力，コミュニケーション能力などについて審査する。</li> <li>養護教諭養成課程 養護教諭や子どもたちの健康に関するテーマについて，集団で討議し，理解力，表現力，コミュニケーション能力などについて審査する。</li> </ul> <p>（個人面接） 志望動機や適性等について審査する。</p>
理 工 学 部				<ol style="list-style-type: none"> <li>合格者は，第1次選抜と第2次選抜の得点による結果を総合して評価し，その合計点の高い順に決定する。</li> <li>講義あるいは実験及びその内容に関するレポートでは，理工系で学ぶための論理的思考力・適応力を複数の教員で評価し，点数化する。</li> <li>面接は，志望学部・学科への興味・関心・意欲，基礎学力及び論理的思考力・適応力を複数の教員で評価し，点数化する。</li> <li>調査書については，記載事項のすべてを評価の対象とする。</li> <li>1の合計点が同一の場合，講義あるいは実験及びその内容に関するレポート，面接，第1次選抜の得点の順序で点数の高い者を上位者とする。</li> </ol>
農 学 生 命 科 学 部				<p>第1次選抜（自己PR書，調査書）の得点及び第2次選抜（小論文，面接）の得点を合計し，その合計点の高い順に合格者を決定する。なお，合計点が同一の場合，面接，小論文の順序で点数の高い者を上位者とする。</p> <p>（自己PR書，調査書） 複数の教員により，内容を点数化し，平均点を得点とする。</p> <p>（小論文） 複数の教員により，内容を点数化し，平均点を得点とする。論理的思考力，読解力，記述能力等を有しているかどうかを主な評価ポイントとする。</p> <p>（面 接） アドミッション・ポリシーに掲げた「求める学生像」に適合し，大学で学ぶために必要な基礎学力を有しているかを，複数の教員で評価・点数化し，平均点を得点とする。</p>

## 7 合格者等の発表

合格者等発表日	志願学部
〔合格者〕 平成29年11月29日(水) 午後2時(予定)	人文社会科学部
	教育学部(※を除く)
	理工学部
	農学生命科学部
〔合格内定者〕 平成29年11月29日(水) 午後2時(予定)	教育学部 ※学校教育教員養成課程初等中等教育専攻 小学校コース
〔最終合格者〕 平成30年2月6日(火) 午後2時(予定)	

- 合格者等の受験番号は、本学大学会館前掲示場に発表するとともに、本人に通知します。また、次のアドレス(URL) <http://daigakujc.jp/hirosaki-u/> (携帯電話及びパソコン) から確認することができます(通信料は各自の負担となります)。  
なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。
- 合格者には、合格発表後速やかに「あて名票2」に記載されたあて先に合格通知書及び入学手続書類を速達郵便で送付します。  
12月4日(月)を過ぎても書類が届かない場合は、入試課へ問い合わせ願います。
- 合格内定者には、合格内定者発表後速やかに「あて名票1」に記載されたあて先に合格内定通知書を速達郵便で送付します。  
12月4日(月)を過ぎても書類が届かない場合は、入試課へ問い合わせ願います。
- 最終合格者には、最終合格者発表後速やかに「あて名票2」に記載されたあて先に合格通知書及び入学手続書類を速達郵便で送付します。  
2月9日(金)を過ぎても書類が届かない場合は、入試課へ問い合わせ願います。

## 8 入学手続

### 1. 入学手続の方法

入学試験に合格した者は、郵送又は持参により、入学手続を行ってください。  
期日に手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

郵送の場合	平成30年2月6日(火) から平成30年2月13日(火) 午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。 〔郵送先〕：弘前大学学務部入試課
持参の場合	〔入学手続日時〕：平成30年2月14日(水) 午前9時～午後4時 ※手続会場については、合格通知書送付の際にお知らせします。

## 2. 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

(1) 合格通知書	合格発表時に送付します。
(2) 宣誓書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。 2人分の印鑑（本人と保証人の分）が必要になります。
(3) 保証書	
(4) 入学金 282,000円（予定）	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※ 授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限は、前期分4月30日、後期分10月31日となっておりますが、本学では、前期分授業料を入学手続時に納付いただくようお願いしております。（前・後期分の一括納付もできます。）なお、授業料については、上記「(4) 入学金」と併せて、本学所定の振込用紙により納付できます。

※ 入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 入学金及び授業料の免除・徴収猶予を希望する者は、事前に申請用紙を取り寄せたうえで、入学手続までに書類を準備する必要があります。詳しくは次ページの「[\[9\] 入学金及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ](#)」をご覧ください。

## 3. 入学手続に関する注意事項

① AO入試合格者は、本学に入学しなければなりません。もし、特別な事情によって入学辞退の必要が生じた場合には、入学手続日までに辞退の手続きをして、本学の許可を得なければなりません。

AO入試合格者が、入学手続を行わず、辞退の手続きも行っていない場合は、その後本学及び他の国公立大学の一般入試（前期日程・後期日程）を受験しても合格者となることはできませんのでご留意願います。詳細は学務部入試課までお問い合わせください。

② 納付済みの入学金については、いかなる理由があっても返還しません。

③ 納付済みの授業料については、平成30年3月30日（金）午後5時までに入学を辞退した者に限り、当該授業料相当額を返還します。

## 9 入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ

入学料及び授業料については免除・徴収猶予制度があります。

①「入学料」 免除・徴収猶予	入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は風水害等の災害を受けた場合などの <b>特別な事情</b> により、入学料の納付が著しく困難な場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料免除（半額）・徴収猶予（延納）を許可されることがあります。
②「授業料」 免除・徴収猶予	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき選考の上、授業料免除（全額又は半額）・徴収猶予（延納又は月割分納）を許可されることがあります。

合格発表から入学手続日までの期間が短い場合、免除・徴収猶予を希望する者は、あらかじめ（合格発表前であっても）申請書類を請求し、記入した申請書類に同一生計者の所得証明書をはじめとする必要書類を添えて、入学手続時に申請してください。

入学料免除は上記①で示した特別な事情（①に準ずる場合で、学長が相当と認める理由がある場合を含む）がない場合は申請しても許可されません。ただし、徴収猶予の申請は可能です。

### ◆郵送による申請書類の請求

請求する封筒の表に「入学料免除等申請書類請求」又は「授業料免除等申請書類請求」と朱書きし「**角形2号の返信用封筒**」及び「**受験者氏名、志願学部学科、連絡先電話番号（携帯電話番号可）**」を明記したメモを同封の上、送付してください。

(1) 返信用封筒には「宛先（受験者の住所・氏名）」を記入し、205円分（速達の場合は485円分）の切手を貼ってください。ただし、入学料と授業料の両方の免除等申請書類を請求する場合は、250円分（速達の場合は530円分）の切手になります。

(2) 入学料免除等・授業料免除等申請書類請求期間

平成30年1月19日～

※入学料免除等申請書類の提出期限は入学手続日ですので、早めに請求してください。

### ◆窓口での申請書類の受取

平成30年1月19日から学生課窓口でも配布します。できるだけ受験者本人が受け取るようお願いします。窓口では受験者であることを申し出てください。

受験者氏名、志願学部、連絡先電話番号の記入及び入学料免除申請の場合は特別事由について記入が必要です。

### ◆申請書類の請求先（問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ  
電話：0172 (39) 3117  
時間：平日 9:00～17:00（ただし、平成30年2月23日、3月9日及び3月12日を除く。）

※ 申請書類の窓口配布は文京町地区の「学務部学生課」のみで行います。

※ 平成30年2月23日、3月9日及び3月12日は個別学力検査の準備及び実施のため不在となります。

窓口での申請書類受取及び電話照会ができませんので注意してください。

## 10 学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ

入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。

以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください（受験区分によっては、入学試験日・合格発表日よりも前に受付期間が設けられている場合がありますので、ご注意ください）。

### 〔1〕 必要書類の請求方法

#### ① 郵送により請求する場合

- 往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- 往信用封筒の裏に「住所」、「氏名」、「性別」を記入してください。
- 返信用封筒（長形3号、返信先住所・宛名記入、切手92円分貼付）を同封してください。

#### ② 弘前大学ホームページから取得する場合

- 所定の様式等をダウンロードしてください。

#### ③ 入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は、平成29年11月20日（月）からです。

### 〔2〕 資料の請求先（入寮に関する問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 学生支援グループ 電話 0172 (39) 3107・3115
--

### 〔3〕 入寮希望調書等の受付期間（最終日17時必着）

平成29年12月1日（金）～平成29年12月15日（金）

## 11 合格しなかった場合の取扱い

A O入試に合格しなかった者が、一般入試の受験を希望する場合は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの国公立大学・学部に出願することができます。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目が異なる場合がありますので特に注意してください。

本学に出願する場合は、別途「平成30年度学生募集要項（一般入試）」（11月下旬配布開始予定）を取り寄せ、それにより所定の出願書類等を提出してください。

## 12 入学試験個人成績の開示

平成30年度入学試験実施結果を以下のように開示します。

	大学入試センター試験	個別学力検査	調査書
開示の対象となる成績情報等	大学入試センター試験の結果に関しては、選考で使用した傾斜配点後の得点を科目別に公表します。	個別学力検査結果に関しては、試験科目毎に得点を開示します。なお、得点調整が行われた場合は調整後の点数で開示します。	「7. 指導上参考となる諸事項」「8. 総合的な学習の時間の内容・評価」「9. 備考」欄を除いた調査書を開示します。
申請・開示する場所	弘前大学学務部入試課		
開示期間	平成30年5月7日(月) から6月8日(金) までの期間に土曜・日曜・祝日を除いて開示します。なお、開示時間は9:00～17:00までとします。		
開示方法	大学入試センター試験及び個別学力検査の点数については、窓口及び郵送で開示します。なお、調査書については、請求日の2日後以降に窓口閲覧のみの開示とします。		
申請に関して	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 請求権者は受験者本人とします。</li><li>2. 開示の際には受験者本人であることの確認をさせていただきます。受験者本人の確認は、弘前大学受験票により確認します。弘前大学受験票がない場合は開示できないので注意すること。</li><li>3. 郵送での申請方法は平成30年4月末頃弘前大学ホームページにてお知らせします。</li></ol>		

## 13 個人情報の取扱いについて

### 1. 利用目的

志願者から提出いただきました個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

### 2. 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、出願書類のうち「あて名票3-A, 3-B（弘前大学生協用）」を、本学と業務委託契約を締結している弘前大学生協へ提供します。

弘前大学生協では、これを利用して大学生生活案内・教科書教材（教科書販売・パソコン等）・アパート等の情報を掲載した資料を送付します。

この取扱いに同意する場合は、「あて名票3-A, 3-B（弘前大学生協用）」に住所・氏名等を記入し、出願書類と共に提出してください。提出いただけなかった方には当該資料は送付しません。

### 3. 国公立大学間の情報提供

分離分割方式による合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、合否判定及び入学手続等に関する個人情報(氏名及び大学入試センター試験受験番号)を大学入試センター及び併願先(国公立大学)へ提供します。

## 添 付 様 式 〔A O入試用〕

	出 願 書 類	所定用紙No.
1	志 願 票	No. 1
2	「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙 受 験 票 写 真 票	No. 2
3	学習計画書（人文社会科学部）	No. 3
4	自己推薦書（理工学部）	No. 4
5	自己P R書（農学生命科学部）	No. 5
6	払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・ 振替払込受付証明書（お客さま用）	No. 6
7	出願用封筒	
8	あて名票	
9	受験票返送用封筒	
10	センター試験成績請求票送付用封筒	



# 弘前までの交通案内

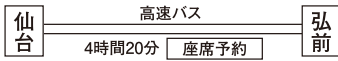
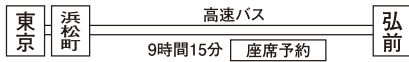
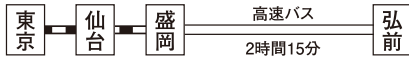
## 札幌・函館から



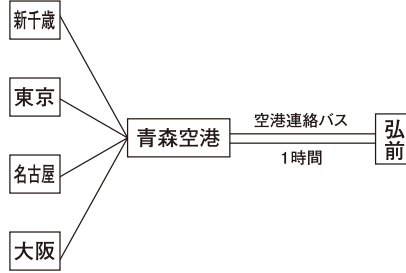
## 新潟・秋田から



## 東京・仙台・盛岡・八戸から

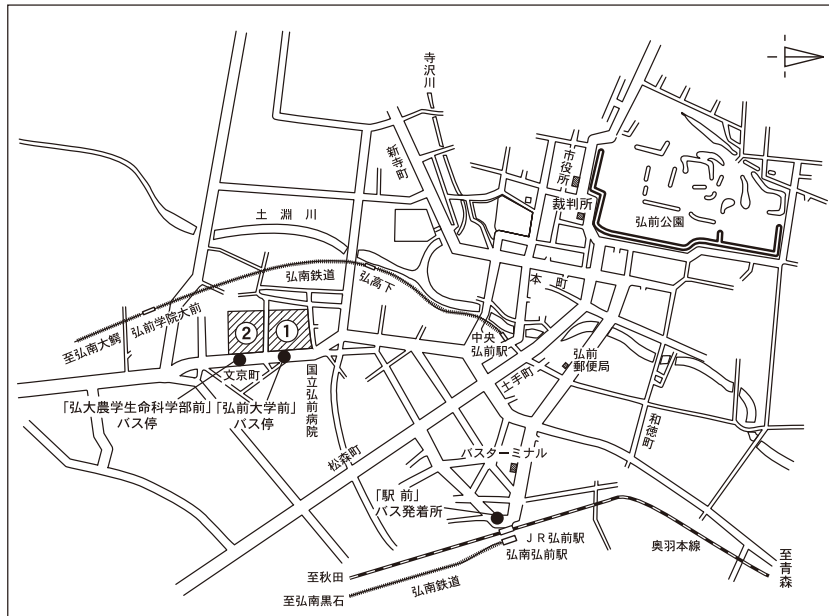


## 空路



## 試験場略図 (弘前市内)

- ① 人文社会科学部試験場，教育学部試験場，農学生命科学部試験場
- ② 理工学部試験場



## 受験についての問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地  
弘前大学 学務部 入試課  
電話 0172(39)3122, 3123

弘前大学 入試情報  
携帯電話サイト



<http://daigakuujc.jp/hirosaki-u/>